

親と子どもでともに学び合い、 お互いの成長を楽しみましょう★

子どもたちの
健やかな成長を
願って…



あい・あい・あいさつ活動
マスコットキャラクター「あいもん」

家庭教育啓発パンフレット「親学」で学び・考えてみませんか？

生活習慣を整えたい！

ふれあいの時間を増やしたい！

地域のきずなを深めたい！

思いやりのある子になってほしい！



← **ねっと・なごや** の動画『楽しく学ぼう「親学」』

令和6年度 中学生の部 最優秀賞

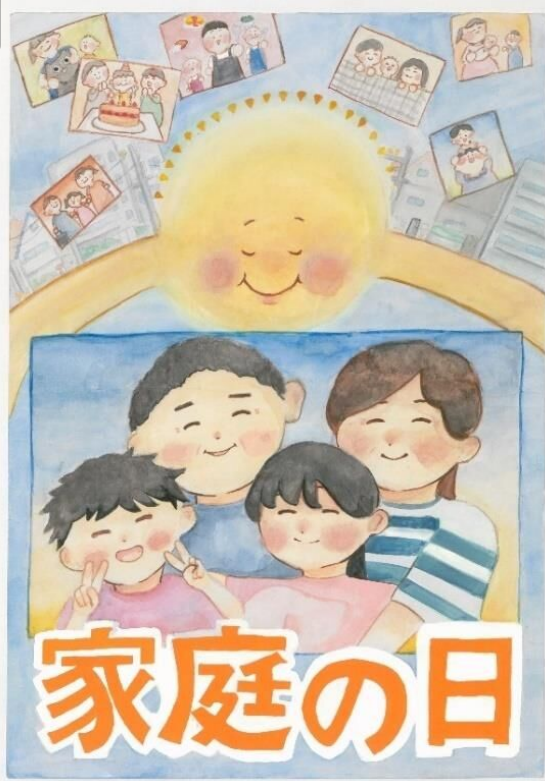


千種中学校 3年生
玉井晶さん

令和6・7年度の
入賞・入選の作品
※学年等は応募当時
のものです。

第3日曜日は「家庭の日」

令和7年度 中学生の部 最優秀賞



志賀中学校 2年生
川尻芽依さん

もくじ

P1~2

親子で ともに遊び・学んでみませんか
「とも遊び・とも学び」ノススメ

P5

おおきなあれ！～幼児期の子どもたち～
「チームで子育てについて考えよう♪」

P3~4

子どもの「今」を大切にするために、
一緒に考えたい、成長の視点

P6

サポート・イベント情報ひろば

巻末

手をつなごう 心もつなごう「家庭の日」

親子で ともに遊び・学んでみませんか 「とも遊び・とも学び」ノススメ



「とも遊び・とも学び」とは

親子でともに遊んだり・学んだりすることを「とも遊び・とも学び」と提唱します。

「とも遊び・とも学び」によって、以下のことなどが期待できます。

【ふれあい】共通の話題ができ、親子のコミュニケーションや一緒にいる時間が増える

【地域のきずな】新しい出会いや発見につながり、視野が広がる

【生活習慣】生活リズムを見直すきっかけになり、気持ちに変化が起きる

【思いやり】互いのことがより分かるようになり、関わり方に変化が生まれる

など

親の
思い

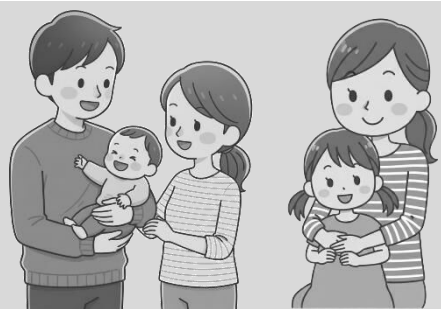
「とも遊び・とも学び」で悩み解決！？

「子どもと一緒にいる時間を増やしたいな」

「子どもが早寝・早起きできるようになってほしいな」

「集中して何かに取り組んでほしいな」

「心優しい子どもになってほしいな」



「とも遊び・とも学び」をすると…

例えば、

子どもの好きな本と一緒に
読んでいるうちに…



ふれあい

私もその本を好き
になり、子どもとの
ふれあいの時間が
増えました。

生活習慣

休日も早起きして、
子どもと一緒に地域
を散歩するようにな
りました。

父の散歩好きに
子どもが感化されて…



「とも遊び・とも学び」事例紹介

事例①「遊び・運動」

興味のある遊びや運動を一緒にすることが、生活習慣を整えるきっかけになるかも！？



【名古屋市生涯学習センター情報】

⇒⇒⇒⇒



事例②「家読(うちどく)・工作」

家族や身近な人と一緒に本を読んだり、工作したりすることで、コミュニケーションや一緒にいる時間が増えるかも！？

※「家読」: 読書を通じて、コミュニケーションを図り、
家族の絆を深める取り組み

【名古屋市の図書館情報】

⇒⇒⇒⇒



事例③「芸術鑑賞・ボードゲームなどの体験」

同じ体験をしたり、
気づきを共有したりすることが、
新しい発見に
結び付くかも！？



【名古屋市の美術館・博物館情報】

⇒⇒⇒⇒



【なごホーム(児童館)情報】

⇒⇒⇒⇒



事例④「自然観察・自然体験」

自然にふれる機会を通して、
新しい発見や気分転換に
つながるかも！？



なごやの公園緑地(名古屋市公式ウェブサイト)

市内の主な公園緑地やその
利用についての留意点などが
掲載されています。

【なごやの公園緑地情報】

⇒⇒⇒⇒



親と子がそれぞれ関心のあるものを取り上げたり、習慣化したりすることが、遊びや学びを楽しく、長続きさせるコツです。家族で共通の話題ができるとよいですね♪

「とも遊び・とも学び」のお出かけ先 情報

名古屋市公式観光情報「名古屋コンシェルジュ」

市内や周辺地域のイベント
やおすすめスポットの情報が
掲載されています。

観光デジタルマップでは、AI
が興味・関心に沿った提案をしてくれます。



～デジタルゲームを

とも遊び・とも学びに活用するには?～

- 子どもにコツなどを教えてもらう時間を設定する
- 結果に対する感情や言動について一緒に考える
- 「やめ時」のルールなどを一緒に決める
- お互いの操作内容などについて認め合う



子どもの「今」を大切にするために、



食事の時間や寝る前など、親も子もリラックスできるひとときに、会話をするよう心掛けています。

(幼児期の子ども・小学生の保護者)

ふれあい



家庭での会話は、家族の「絆」を育む大切な時間です

お子さんが小さいうちは、食事の時間やお風呂、寝る前など、親子でほっとできるひとときに、ゆっくり話を聞いてみましょう。「話を聞いてもらえた」と感じることで、子どもは安心し、自分が大切にされていると実感します。こうした時間が、子どもの安心感や親子の絆を深めるきっかけになります。

成長とともに、会話が少なくなったり、返事がそっけなくなったりすることもあるかもしれません。そんな時でも、「おはよう」「いってらっしゃい」と声を掛け続けることが、子どもにとって心の支えになります。日々のちょっとした会話が、子どもの心を育て、家族の「絆」を深めていきます。無理なく、できることから始めましょう。



あいモン公式
X(旧twitter)



あい・あい・あいさつ活動
マスコットキャラクター

あいモン
ぜひぜひ
フォローを
お願いします！

あいさつから始める、地域とのつながり

人と人とのふれあい、地域で顔見知りの関係をつくるための第一歩は、あいさつです。例えば、朝の登校時に通学路で「おはようございます」と声を掛けるだけで、つながりが生まれます。



学校や地域の行事に参加して、あいさつや雑談をしているうちに、人間関係ができてきました。

(小学生・中学生の保護者)

地域のきずな



地域とつながり、子どもを見守るあたたかい環境を

地域の方々とのつながりは、子どもを安心して育てるための大切な力になります。あいさつを交わしたり、地域のイベントやボランティア活動に親子で参加したりすることで、つながりが生まれます。あいさつなど、できることから始め、つながりの輪を広げてみませんか。

【地域行事等に親子で参加するメリット】

- ・地域の人との交流を通じて、社会性やコミュニケーション力が育めます。
- ・子育ての悩みを共有できる仲間や、頼れる人とのつながりができます。
- ・親子で一緒に活動することで、家族の「絆」がさらに深まります。

一緒に考えたい、成長の視点

生活習慣



ご飯を食べる時間やお風呂に入る時間を決めて、生活リズムを整えるようにしています。
(幼児期の子ども・小学生の保護者)



規則正しい生活リズムで健やかな成長を

幼いころから生活リズムを整えることは、その後の習慣や心身の成長にとってもよい影響を与えます。「早寝早起き朝ごはん」といった生活習慣は、子どもが健やかに育つための土台となります。生活リズムが整うと、心にゆとりが生まれ、自分の気持ちや人との関わり方に変化が起きます。小さな習慣が、子どもの成長を支える力になります。

心のSOSを受け止めて

子どもの心のSOSは、何気ない発言や態度に現れることがあります。こうした変化に気付くために、普段から子どもの様子を観察することが大切です。

もし、子どもが、いじめを受けたり、いじめに関わっていたりしていることが分かったら、すぐに学校などに相談しましょう。大切な子どものことになると、大人も感情的になってしまいがちです。

まずは落ちついて冷静になりましょう。そして、子どもの立場になって、人を傷つけてしまった時の心の痛みや傷つけられた時の苦しみを、一緒に考えてみてください。

また、世の中には、さまざまな差別や偏見があります。差別・偏見に対しては、私たち大人が、しない、許さない、という姿勢をきちんと示していく必要があります。

思いやい



子どもの思いも大切にしながら、寄り添うことを心掛けています。
(中学生の保護者)

情報端末やゲーム機との付き合い方を考えましょう

子どもたちが情報端末やゲーム機を使う機会は増加する一方です。そんな中、オンライン空間上でのひぼう中傷や「ネットいじめ」が問題になっています。ネットいじめは、大人の目が届きにくく、深刻化しやすいといわれています。

大切なのは、子どもと一緒にルールを決めること。保護者自身も情報端末の使い方やSNSの仕組みを理解し、ネットの世界でも思いやりのあるコミュニケーションがとれるようにしましょう。

まずは、子どもと一緒に簡単なルールをつくることから始めてみましょう。

ケータイ・スマホ 名古屋市の おすすめルール

- ◆家で利用する時間は、夜9時までにはします。
(親に預けます)
- ◆食卓に持ち込みません。
(電源OFFにします)
- ◆ケータイ・スマホで、人の悪口や個人情報を書き込みません。
- ◆ケータイ・スマホを使わない人を仲間はずれにしません。
- ◆知らない相手にメール等を返信しません。



e-ネット*
なごや
「ネット・スマホの利用を子どもと一緒に考えよう」をチェック!

おおきくなあれ！

～幼児期の子どもたち～

テーマ：チームで子育てについて
考えよう♪

700万年かけた大発明「チームで子育て♪」

梶山女学園大学
教授 山口 雅史

子育てする動物として知られる哺乳類。ですが、6,000種もいる哺乳類のうち実に95%以上が母親だけで子どもを育て、父親は子育てにノータッチなのです。これを読んでのお父さん、「人間も哺乳類なんだから、ぼくも子育てに協力しないといけないじゃない？」なんて早合点しないでください。わずか数%に過ぎませんが、母親と父親がペアになって子育てする種が存在します。それは、生息環境がきびしい、大きくて重たい赤ちゃんを産むなど、母親だけでの子育てが困難な動物たちです。進化した大きな脳をもち、長い子ども時代を必要とする私たち人類も、その数%に含まれる、とてもめずらしい哺乳類なのです。

その困難を乗り越えるため、人類が進化の過程で発明したのが『共同養育』。
パートナーはもちろん、祖父母や近隣の仲間たちとも協力して子育てするという他の哺乳類にはみられない画期的なシステムです。

「私一人ではうまく子育てできない…」と悩んでいるお母さん。だいじょうぶ！！それは当たり前のことなのです。人類にとって母親ひとりでの子育てが極めて難しいということは進化の歴史が証明しています。お父さん、おばあちゃん、ママ友やSNS、園や学校の先生にさまざまな相談窓口。子育てに悩んだとき、胸をはってまわりの仲間を頼りましょう。だって、「チームで子育て♪」は、700万年もの長い長い時間をかけて私たち人類が編みだした、この星でもっとも進化した子育てシステムなのですから。



親学「チームで子育て」

星条幼稚園
保護者 粟田 千佳

「これはどうしたらいいの？」「誰かに聞きたい！話したい！」

これは、私自身が日々の育児で感じることです。

以前、幼稚園で開催される未就園児の集まりに参加しました。

そこで、話を聞いたり話したりすることで、「私はひとりではないのだ」と安心したことがありました。悩んだ時は、まず家族に話をしますが、一歩外に出て周りの人に相談するようにもしています。

「誰に聞けばいいの？」「悩んでいるのは私だけ？」と感じた時に、相談できる人や場所が1つでもあると心のゆとりができ、さらに、その場がたくさんあると心のゆとりが増えると思います。「チーム」である周りの人を頼ることで、困りごとへの解決の糸口が見つかり、一歩前に進むことができます。そして、子どもの成長を共に喜び、感動を共感し合うこともできます。それが楽しみながら育児をすることにもつながるのではないでしょうか。

もうすぐ卒園を迎えますが、卒園後もひとりで抱え込まずに、幼稚園の先生方や入学先の小学校の先生方、周囲の人に頼りながら、楽しく子育てをしたいと思います。



子育て Q&A

親子や地域の方と一緒に何かをしたり、ふれあいを深めたりするとき、親としてどのような声掛けや関わりをするとよいのでしょうか

親子や地域の方と一緒に何かをするときには、子どもの気持ちに寄り添いながら、安心して参加できる雰囲気をつくるのが大切です。まずは、大人がゆったりと構え、「楽しみだね」と、前向きで落ち着いた声掛けをすることで、子どもの安心感につながります。

また、子どもの「やってみたい」という気持ちも大切にしましょう。結果だけでなく、子どもの気付きや挑戦する姿などに目を向け、「よく気付いたね」「工夫していたね」と、過程を認めていくことで、自己肯定感が育まれ、意欲につながります。

地域の方と交流する際には、大人が進んであいさつをし、感謝の気持ちを伝えたり、「おもしろいね」と興味をもって関わっていったりしていくことも大切です。大人の温かい関わりから、子どもは“人とつながる心地よさ”を自然と感じ取っていきます。

親も地域も子どもも、みんなで笑顔になれる時間をつくっていききたいですね。



名古屋市教育委員会 義務教育課・特別支援教育課・高等学校教育課

(所属名等は寄稿当時の情報です)

サポート・イベント情報ひろば

子どものことについて学びたい・相談したい・応援したい

なごや

子ども応援委員会

なごや子ども応援委員会



～なごや子ども応援委員会は、すべての子どもの学校生活を応援しています！～

名古屋市では、学校生活の中でさまざまな悩みや不安を抱える子どもを総合的に支援するため、市立中学校110校と一部の市立高等学校に、常勤の専門職（SC〈スクールカウンセラー〉等）を学校現場に配置しています。また、全市立幼稚園・小学校・高等学校・特別支援学校・夜間中学にも非常勤のSC等を配置しています。

お父さまが抱える問題や悩みについて、保護者の方が相談したい場合も、どうぞお気軽に、子ども応援委員会をご活用ください。

なお、相談したいときは学校の先生にご連絡ください。

【なごや子ども応援委員会情報】⇒⇒⇒⇒



e(え)ねっと*なごや

インターネット講座配信中！

e-ねっと*なごや

eねっとなごや 検索



「いつでも」
「どこでも」
「だれでも」



学べる学習コンテンツを配信中！

★相談窓口のご紹介★

さまざまな悩みなどは、一人で抱え込まずに相談することが大切です。学校の先生や親類、友人の協力や、子育てを応援・サポートしてくれるシステムなどを活用しましょう。

どこに相談してよいか分からない場合は、まず、総合相談窓口である「ハートフレンドなごや」にご相談ください。お父さまの状況に応じた対応（関係機関の紹介等）をアドバイスしてくれます。

【名古屋市不登校児童生徒支援サイト】

⇒⇒⇒⇒

総合相談窓口「ハートフレンドなごや」
(TEL 052-683-8222)



★名古屋市子どもの権利相談室「なごもっか」★

「なごもっか」は子どもの権利を守るための相談室です。子どもの権利について心配なことがあるときは、なんでもご相談ください。

子ども専用フリーダイヤル TEL 0120-874-994

大人相談用電話番号 TEL 052-211-8640



※子どもの権利に関わることであれば、大人も相談できます。



子ども向けイベント・作品募集等

毎月10日・25日更新

デジタルチャレンジ

～イベント、作品募集等を探してみよう～

名古屋市では、幼児・児童・生徒向けのイベント、作品募集等のご案内について、名古屋市公式ウェブサイト上に掲載しています。毎月10日と25日にページを更新していますので、ぜひ、ご覧ください。

名古屋市公式ウェブサイト(デジタルチャレンジ)の二次元コードはこちら ⇒⇒⇒



受信設定方法

※最初の設定時のみ認証画面が表示されますので、「認証」してください。



②「子育て・教育」を選択し、受信設定してください。

友だち登録はこちらから



LINEID:
@nagoyacity



①LINEトーク画面のメインメニューより、「受信設定」をタップします。

子どものことについて 学びたい・相談したい・応援したい

親学関連講座

各区生涯学習センターで実施
しています。

(託児付き講座もあります)

詳しくは、

「名古屋市生涯学習センター講座」
で検索！ または、こちらから ⇒

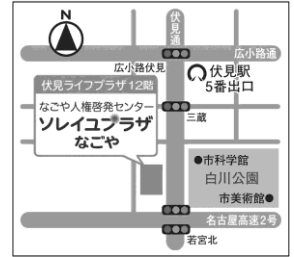


なごや人権啓発センター ソレイユプラザなごや

ソレイユプラザなごやでは、高齢者や妊婦、車いす等の疑似体験やタッチパネルでの学習などをとおして、身近な人権について気づききっかけを提供しています。

また、土・日・祝日に、「子ども向けじんけんワークショップ」や「パラスポーツ体験デー」も開催しています。親子で楽しみながら人権について学ぶことができます。ぜひ、ご来館ください。

詳しくは
こちらをチェック



●お問合せ TEL : 052-684-7017



登録してみませんか 親学推進協力企業制度

教育委員会では、保護者である従業員に対し「親学」に
ふれる機会を提供していただける企業(団体)を「親学
推進協力企業」として登録しています。 【親学推進協力企業制度】⇒⇒⇒⇒



第3日曜日は「家庭の日」

手をつなごう心もつなごう 家庭の日

毎年、「家庭の日」普及・啓発作品の募集を行っています。園児等の図画作品募集については、夏に名古屋市公式ウェブサイトでもお知らせしています。市立小中学生のポスターの作品募集は、各学校を通じてご案内しています。たくさんのご応募をお待ちしています。

令和6・7年度の
入賞・入選の作品
※学年等は応募当時
のものです。

令和6年度 園児の部
入選



鳴子幼稚園 年中
志村碧優乃さん

令和6年度 小学生の部 最優秀賞



名東小学校 3年生 隈元乙葉さん

令和7年度 小学生の部 最優秀賞



荒子小学校 2年生 井口依菜さん

名古屋市の
「家庭の日」
について



令和7年度 園児の部
入選



植田にじの花保育園 年中
大嶽彩月さん